



令和7年10月9日

各位

上場会社名 株式会社レイ
代表者 代表取締役社長 分部 至郎
(コード番号 4317)
問合わせ先責任者 取締役 天野 純
(TEL 03-5410-3861)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、令和7年7月14日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 令和8年2月期第2四半期(中間期)連結業績予想の修正値

(令和7年3月1日～令和7年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,600	500	540	375	28.02
今回修正予想(B)	5,845	708	778	547	41.22
増減額(B-A)	245	208	238	172	
増減率(%)	4.4	41.6	44.1	45.9	
(ご参考) 前期実績 (令和7年2月期第2四半期)	4,513	172	236	169	12.11

2. 令和8年2月期連結業績予想の修正値

(令和7年3月1日～令和8年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,000	900	1,000	700	52.12
今回修正予想(B)	12,500	1,200	1,300	900	68.41
増減額(B-A)	500	300	300	200	
増減率(%)	4.2	33.3	30.0	28.6	
(ご参考) 前期実績 (令和7年2月期)	10,456	927	1,050	745	54.09

3. 修正の理由

令和8年2月期の第2四半期（中間期）の連結業績は、大阪・関西万博関連、コンサート・展示会等の各種案件が活発に開催されており、業績は好調に推移いたしました。特に、映像機器レンタル部門において、中間期末にかけての実施案件数を当初想定以上に積み上げることができ、保有機材の稼働量の増加が売上高及び各段階利益の増加に資することとなりました。

以上により、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する中間純利益がそれぞれ増加する見込みであります。

また、令和8年2月期通期の連結業績予想におきましては、大阪・関西万博関連案件の一部繰上げ計上や、昨今の物価高の影響により、下期に予定している機材倉庫の移転費用が想定より上振れる見込みですが、第2四半期（中間期）累計期間の連結業績が堅調に推移したこともあり、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益がそれぞれ増加する見込みであります。

以 上